

2007年7月4日(水)～9月2日(日)

開館30周年記念展Ⅲ

世界中の子どもみんなに平和としあわせを

- ①ちひろが願ったこと
- ②『ここが家だ——ベン・シャーンの第五福竜丸』展
- ③再現! 「ベトナムの子供を支援する会」 反戦野外展

「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」——これは、いわさきちひろが「ベトナムの子供を支援する会」反戦野外展に出品するポスターに書き込んだことばです。開館30年を迎える今年、改めて、ちひろが生涯をかけて絵筆に託した「子どもたちの平和としあわせ」への願いを見つめ直す展覧会を開催します。

展示室

1・2B・3

①ちひろが願ったこと

<夏の子どもたち>



「ゆびきりをする子ども」1966年

ちひろは生涯、子どもをテーマに描き続けた画家でした。夏の日差しの中であそぶ子どもたちも数多く描いています。



「赤い胸あてズボンの少女」1971年

<戦争の絵本>

広島で被爆した子どもたちの手記に絵を描いた『わたしがちいさかったときに』、ベトナムの戦時下に生きる子どもたちを描いた『母さんはおるす』と『戦火のなかの子どもたち』。3冊の戦争の絵本には、子どもの生命を脅かす戦争を許さない、強い思いが込められています。



「たたずむ少年」 『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1972年

<子どもにつたえる日本国憲法>

昨年、作家・井上ひさしが憲法を子どもにも読めることばに「翻訳」し、ちひろの絵とともに編んだ『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』が出版されました。この本には、ちひろの願いがつまっています。

「日本国憲法のなかでも、「これだけは読んでおいてほしい」と思う、前文と第九条を、小学生にも読めるようにやさしくしてみました。いわさきちひろさんの絵が加わると、なんだか詩の絵本のような感じがするからふしぎです。……」

井上ひさし 『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』より



『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』(表紙) 井上ひさし・文 いわさきちひろ・絵 講談社 2006年